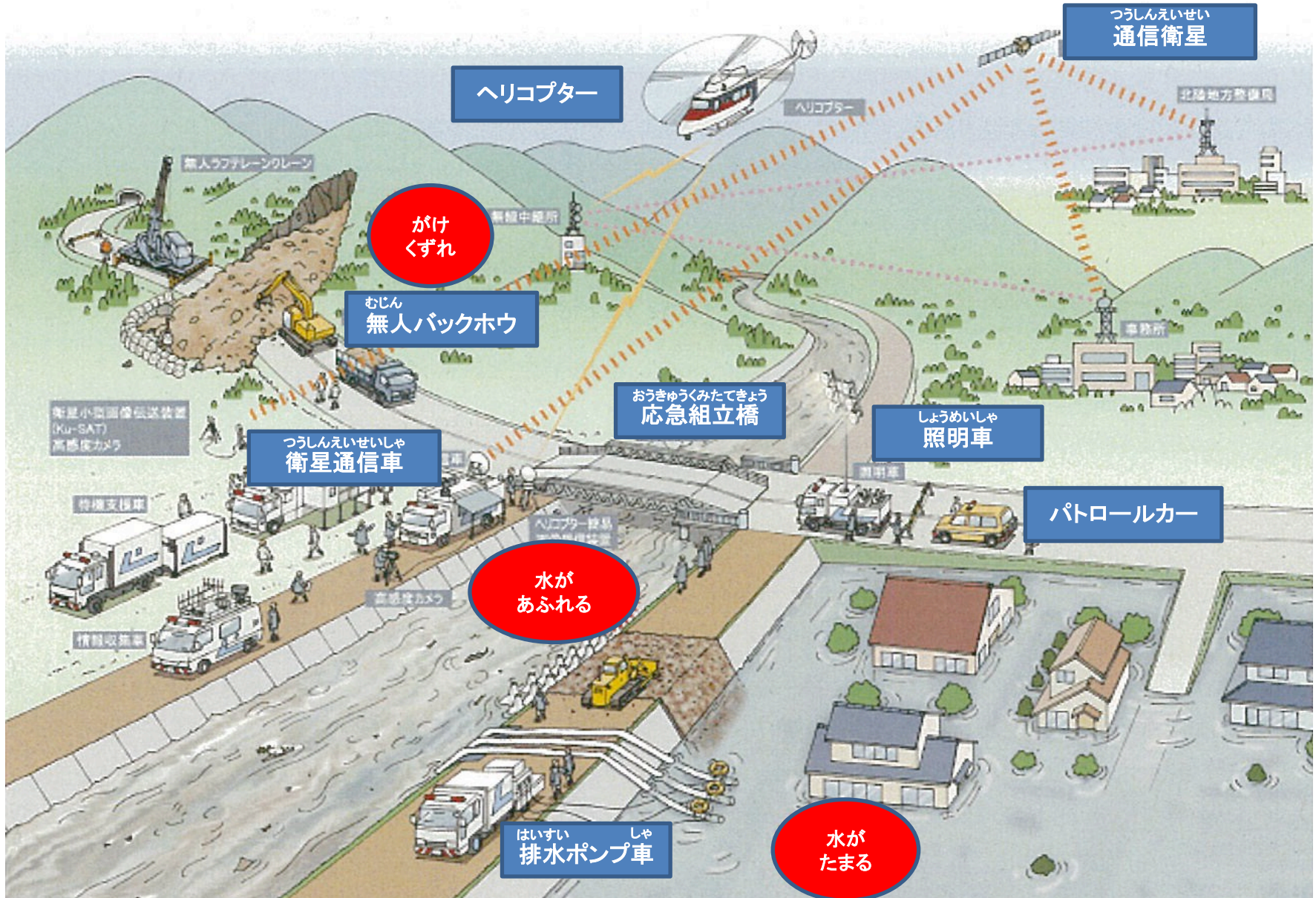


さいがい かつやく きかい
災害で活躍する機械

こく どう とう じょう たか だ か せん こく どう じ む しょ
国土交通省高田河川国道事務所

災害がおこったときに出動する機械



対策本部車



出典：国土交通省北陸地方整備局 北陸技術事務所

じしん おおあめ さいが さいがいげんば ちか
■地震や大雨で「災害」がはっせいしたとき、「災害現場」の近くまで行って、
たいさく はな あ ばしょ きかい
どのような対策をしたらよいか話し合う場所をつくる機械です。

さいがいげんば どうちゃく あと しゃたい じょう ひろ かいぎしつ
■災害現場に到着した後、車体をひろげて10畳の広さの会議室をつくること
しゃりょう ひろ
ができます。2台の車両をつなげることで、さらに広くすることもできます。

はいすい 排水ポンプ車



(国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所配備)

■ 大雨で川が洪水になり家や道路が水につかったとき、近くに行って水をすいあげます。すいあげた水は、川に排水して被害を少なくします。

■ ポンプ4台で、1分間に30立方メートルを排水できます。

■ 排水ポンプは、50mプールの水を、12分でからにすることができます。

照明車



さいがいげんば さぎよ あか
■災害現場で、夜でも作業ができるようにまわりを明るく照らします。

しょうめいと たか の ど
■照明灯の高さは、10mの高さまで伸びて、360度どこでも照らします。

はんたいがわ ていぼ しんぶ よ
■200mはなれた反対側の堤防でも新聞を読むことができるほど明るく照らします。

衛星小型画像伝送装置 (Ku-SAT II)



(国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所配備)

さいがい 起き さいがい が 起きている 場所 にも 持ち込み、ビデオカメラで撮影した画像と音声を
つうしんえいせい おく つうしん げんば じょうほう し
を通信衛星で送ります。通信ができない現場の情報を知ることができます。

きざい かる じょうきょう すばや たいおう
■ 機材は小さく軽いので、状況にあわせて素早く対応できて、いつでもどこか
つうしん おも さいがい つか
らでも通信ができるため、主に災害のおこりはじめに使います。

応急組立橋



出典：国土交通省北陸地方整備局 北陸技術事務所

■ 川の増水や地震、土砂崩れで橋を使うことができなくなった時に、車や人が川を渡るために一時的にかける橋です。